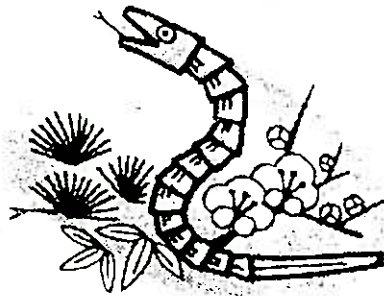


ひろば大代

NO. 257

大代公民館



年頭にあたって思うこと

公民館館長 笹木光夫

新年明けましておめでとうございませす。旧年中は公民館事業推進に多大なるご協力を頂き有難うございました。

二十一世紀を迎え、国内外では色々なニュースがあります。アメリカではブッシュ大統領の誕生、国内では森内閣の再スタート等又、生活面では経済が安定せず景気の上昇がまだ望めない状況が続いています。社会情勢は非常に厳しいですが、幸いな事に大代町で

は皆さんが元気に二十一世紀を迎えることが出来た事を皆さんと共に喜びたいと思います。

さて昨年四月にスタートした介護保険制度も十月月が過ぎます。色々の経過の中で反省点も多くありますが、今年には制度の発展を期して改善の方向で検討される事を期待しています。

町内の活性化グループ、一万円札の会、竹炭の会、はぐるま会等の活動が老若男女を結集して更なる前進の為、公民館も頑張りたいと思います。

最後になりましたが町内に於ける社会福祉事業の「さくらんぼ教室」の充実と一人一人のふれあいを大切にする町づくりを目指して頑張ります。

今年も多大なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

二十一世紀に向かって

連合自治会長 高村 貢

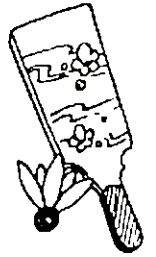
明けましておめでとうございます。二十世紀から二十一世紀に向け佳きお

正月を迎えられた事と思います。

昨年を振り返りますと一月十九日、一万円札の会のNHKテレビ放映、そして一月十九日、三月十九日、四月十九日と三件の火災がありました。今年には災害など無しにみんな気をつけよう。四月から介護保険事業が始まり、それに伴って地域参加型機能訓練事業で大代では「さくらんぼ教室」が九月から毎月一回開催され、十二月にははぐるま会会員のご協力で年越しそばを打つていただきました。

このはぐるま会は大代町の活性化事業の一環として発足し、いろいろ模索した結果、そば作りになり、十一年は買ったそば粉で作り、十二年は地元のお田畑を借りてそばの種まきから収穫まで会員がしました。その結果、百%のそば粉でそばを作り、いろいろな場所でそば作りをしましたがいずれも大好評でした。

二十一世紀を迎えても色々な事で皆さんのご協力をお願いすると思ひます。がよろしくお願ひ致します。



新年のご挨拶

東京石見高山会会長 楠 義見

謹んで新年のお祝詞を申し上げます。
ご郷里の皆様、関西高山会、東京石見高山会会員の皆様にはお揃いで新世紀の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、国の内外を問わず色々な出来事が起こりましたが、国内においては激動の二十一世紀を凝縮した明るいニュースの少ない年でありました。

いよいよ二十一世紀の扉が開き、IT産業の隆盛によって地域感覚差も解消されると、豊かな生活環境にある私達の故郷大代は、今後一層注目されるところとなります。

報道された新札、二千円札紙幣の和紙は郷土の誇りであります。

今年の干支「巳」つまり蛇は金運に

恵まれるといわれています。

この新紙幣にあやかっつて、景気も上昇し、平和で穏やかな生活が送られることを願いますと共に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

二十一世紀の初頭に当たって

関西高山会会長 田辺正義

明けましておめでとうございます。

二十一世紀の日本人の食生活はどう変わっていくか、それに対して外食産業は、そして私が直接携わっている飲食業は、どう対応していかなければならないか、この問題がここ数年来ずっと私の頭から離れませんでした。

そこでこれに私なりの解答を出すべく、一昨年夏頃から、私が得意とする料理を中心とした一冊の本を書くための準備を進めてまいりました。

その中で私は時代のキーワードを

①情報・国際化そしてグローバル化

②スピード化

③食文化

にあるとして、「次代の社会のカギを握る若者に焦点を合わせて事業を展開していくべきである」と強調しています。

二十一世紀と聞くと、あたかも全く未知の世界へ入っていくような気がしますが、いずれにせよそれはこれまでの生活の延長でしかありません。

世の中は目まぐるしく変化していきますが、全体がどの方向へ進むのかをしっかりと認識して毎日を送っていきたいと思っています。

二十一世紀に期待すること

大代小学校校長 多々納今子



あら玉の 年の始めに 言うことなし
されど健やか 良き人生を” 今子

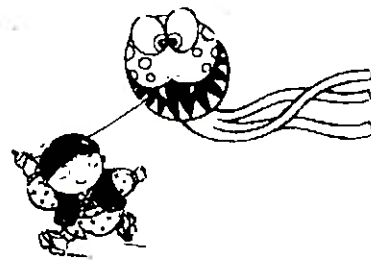
皆さん、家族揃って楽しい正月を過ごされたことと思います。新世紀にあたり一言。

「物や金の時代」の二十世紀を乗り越えて、二十一世紀は「心の時代」と言われます。ゆとりをもつて「いい生き方」をする時代へと移行してほしいと思います。その子なりの「いい生き方」のできる子どもを育てたいものです。個人から国、世界までも視野に入れ、人・命・自然を大切にする優しさ、ふれあいの時代へと変化していったほしいと切に思います。

宇宙旅行がまもなく実現しそうな二十一世紀。宇宙から地球を見ることも夢ではなくなりました。ナショナルズムを克服し、宇宙レベルで物を見るくらいの大きな心を持ちたいものです。二十一世紀は、バリアフリーの時代とも言われます。価値観そのものもバリアフリーとなり、新しい価値観が存在するかも知れません。そして、夢は万人のものになるでしょう。

そんな二十一世紀を生きぬくには、

一人ひとりが心身共に健やかでゆとりのある生き方をするのではないでしょう。そんなことを考え想いつつ、元旦の夜は更けました。



二十世紀から二十一世紀へ

大代婦人会会長 田辺幸子

明けましておめでとございます。今、私達は二十世紀から二十一世紀の時の流れの中に生かさせて頂いております。こんな一瞬を頂けるなんて何と幸せなことでしょう。共に喜びたいと思います。

私も大代の人となり半世紀に近く、帰るふる里は大自然の中の大代となりました。

つい先日、隣の永井さんと車の中で交わした言葉「大家はいいなあ、落ち着くところはやっぱり大家ですね」と。人口減少率大田市一、高齢化一番の大代町ですが、あらゆる面でやる気（夢）を持つて前向きに精一杯動いています。私達は大きく胸を張っていいのではないのでしょうか。自信と誇りを持つていいのではないのでしょうか。

私は、これまでいつも周りの人のお陰で生かされて来ました。そして明るい家庭と地域をつなぐことに微力ながら皆様と一緒に頑張つて来ました。

人は絶対にひとりでは生きていきません。一人よりは二人が、二人より三人が楽しく生きて行けます。

これからも、相手の心を思いやりながら、肩を寄せ合つて、生きている限り頑張つて行きたいと思えます。

年頭の随想

寿会会長 泉 朋納

明けましておめでとうございます。

さて昨年は二千年の千年紀を迎えるというので大きく期待をかけた年でありましたが、ついに長引く経済不況より脱出も出来ず一年を終りました。

明るい話題といえばシドニーオリンピックで日本の女子選手の活躍が目ざましかつた位の事で国の内外を問わず波乱の多い年でありました。

二十世紀中に起きた事は二十世紀中に解決すると言う政府の約束事も立ち消えとなり手付けずで申し送られた始末であります。農業面でも昨年は作況指数104で豊作といわれながら農家は手放して豊作を喜べないという、そして豊作分に相当する面積を翌年度転作面積の上乗せによつて償いはされるといふ、農民泣かせの農政は尚続きそうに思われます。

この様な世情の中、大田市も急速な人口の減少と高齢化の進む中、高齢者

組織の拡充が愈々重大となりました。

二十一世紀を迎えるに当り、全老連より各単位クラブに対して七つの課題が提起されてきました。これは新年度事業として取り組んで参ります。

今大代には高齢者が二八五名おられ高齢化率は四五・九七%で市の平均三二・一五%に比べ一番高齢化の進んだ地域となります。反面六十五才以上の寿会への加入率は、四一・〇五%で加入率の一番高い祖式町は九八・四九%でこれと比べると半数にも達していない現状であります。

全老連の提案課題の解決のためにも、二十一世紀出発の年を契機に町内高齢者の方々にクラブへの加入の必要性を充分御理解いただき、加入率を高めながら組織の拡充強化を図る事を新年度の重点方針と考えておりますので該当者の皆様の協力をお願いします。

最後に二十一世紀が人類にとって平和であり、一人一人が生きていてよかつたと感じられる百年である様念じて終ります。

歳時記「御降り」
おきが

駐在所 神在英夫



新年明けましておめでとうございます。

昨年同様「平和で安全な町」を目指し頑張りたいと思います。皆様の御理解と御協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて「御降り」というのは元旦または三が日に降る雨や雪のことです。

普通「御降り」というと神仏の供え物をおろして人が食べることとか、年長の人から譲られた衣類などのことを指します。しかし、季語の場合は昔、

一月一日や三が日に雨や雪が降ると豊作の吉兆として喜ばれたことから「御降り」または「お降り」と表現するようになります。

御降りに眉目濡らして三輪詣り

北野民夫

縁起がよいといわれる御降りなので雨を嫌がるのではなくむしろいそいそと出かける感じが出ています。

この時期の雨は豪雨になることは少ないと言われています。

新春を迎えて

消防分団団長 井谷英美

明けましておめでとうございます。輝かしい二十一世紀の新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

消防につきましても皆様方にご支援ご協力を頂いています事厚くお礼申し上げます。さて昭和二十三年に自治体消防発足以来今年で五十三年になりました。二十世紀末で経済や社会の情勢も大きく変わりました。消防も今迄と同じ消防でなく、縮小し充実した消防団を作る為に今色々検討されているところです。

さて昨年の秋、独居老人宅の防火点

検に団員が各家庭を訪問しました。それぞれにお話を聞いた結果を集約しますと、どのお宅も火には注意しておられますが皆高齢になり、思う事、考える事が直接行動出来なくなるようです。「やったつもり、見たつもり」だが、どうだったかいなあとの答え。今後は確認の意味で声を出して確認しましょう。ガス元栓「よし」ストーブ「よし」コタツ電源「よし」など。

生活が豊かになり便利な物がありますが便利な物ほど使い方を誤れば危険な物となります。まだまだ暖房器具を使う時期ですので、各御家庭で火の元には十分注意して頂き、火災は絶対出さない大代になる様に御協力下さい。

二十一世紀を迎えて

体育協会会長 和田 積

明けましておめでとうございます。

昨年は皆様方の御協力を頂き、体協の

行事を賑やかに行なうことができました。多くの方と一緒に楽しめるような企画を更に堅い頭にムチ打って考えていきたいと思えます。

さていよいよ二十一世紀を迎えました。二世紀を経験出来る世代の僕達は幸運なのでしょうね。多分？プレミアムだ新世紀だと騒がしいのが不思議な気分です。これが十二月三十一日の二十四時に、カチツと音がしたりでもすればわかり易くていいのにねえ。と、ちびまる子のように考えているのは僕だけでしょうか。

そんな事はとにかくも、したくなくとも勝手にリセットされた新世紀第一段、さつそく二月四日に「卓球大会」を行いますので是非ご参加下さい。

多くの意見が、参加者が多いからこそたのしい行事。皆さんの笑い顔とちよつとの苦情が、体協の羅針盤なのだといま僕達は思っています。

昨年一年本当に有難うございました。二十一世紀が誰にとっても希望をたがやす年でありますように。



大田市身障者協会結成五十周年

記念大会に出席して

大代身障者協会会長 渡辺壽雄

明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年十二月大田市民会館に於いて大田市身障者協会結成五十周年記念大会がありました。

午前中は記念式典があり、席上五年以上協会に功績のあつた方に表彰及び感謝状が授与されました。午後は大ホールに於いて障害者団体施設、(共同作業所つくし園、大田市視覚障害者福祉協会、島根県立清風園、社会法人亀の子、共同作業所はとぼっぼ)等の活

動発表やボランテイア友情出演などがあり、海老一染之助、染田染太郎の公演、最後に田原米子先生の記念講演がありました。

演題は「生きるってすばらしい」。

先生は高校二年生の時、電車で飛込み自殺を図つたが、奇しくも一命を取りとめたが、左手、両足を失い右手も三本を残される身となられた。

絶望の淵を生きて来られたにもかかわらず、結婚もされて二人の子供を生んで育て上げたと話された。私はその姿を見てただ驚くばかりでした。先生は足は義足、手は右手三本の指で器用に包丁でりんごを切り、皮をむいて皆さんに食べてくださいと言われたが、その早わざにはとてもびっくりしました。私達はもつともつと何でも諦めず頑張らなくてはと思ひました。



新年を迎えて

大代小PTA会長 笠井節夫

明けましておめでとうございます。

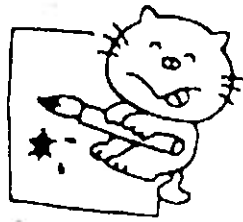
二十世紀から二十一世紀へと記念すべき時を生きてこれた事を実感し喜んでおります。私事小学校のPTA会長の役を受けて早いもので二年の任期も、余す所三か月になり、何となく先も見えてきた所です。教職員の皆様をはじめ保護者の方、町民の皆さん方には何かとお世話になり厚くお礼申し上げます。

私自身この二年間いい経験をさせていただき子供達を身近で見ることが出来、子育てには今の時代父親の参加が非常に重要ではないかと感じております。



末の息子もこの春卒業という事で小学校PTAも十四年間参加させていたいただきましたが親子共々卒業という事になります。残された任期ももうひと頑張りと言う思いでありますので、本年もよろしくお願い致します。

早速ですが一月二十八日には恒例の幼小公合同研修会を予定しております。講師には小泉 凡先生(小泉八雲の曾孫)を予定しております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。



年頭のご挨拶

幼稚園PTA会長 山根 裕

明けましておめでとございます。

旧年中は大代幼稚園に格別なるご協力ご配慮をいただき有難うございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

大代幼稚園は、平成十二年度四月、年長二人、年中一人、年少二人の計五名から始めましたが、九月より新たに年少の下に三歳児一人の入園で計六人で現在に至っております。

小人数ながら、みんな元気一杯、特に昨年までは女の子の方が多く、男の子は押され気味でしたが、現在年少さんと三歳児の三人は全員男の子となり女の子を負かす勢いであばれています。

また今年度は、旧小学校体育館跡地を高村さん、下垣さんをはじめ、PTAの皆さんのご協力により整地し、立派な運動場にすることが出来ました。お陰様で子供たちも廃材を気にすることなく、思う存分走り回ることが出来るようになり大喜びです。

旧小学校校舎のため老朽化が進み、何かと手入れが大変ですが、先生二人のもと、大代の将来を担う元気な園児

たちがいきいきと育ちますよう今後とも町民の皆様のお力添えの程よろしく
お願い致します。

★——★ お知らせ ——★

◎大代公民館より

大代婦人会様から

金一封のご厚志をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

◎大代地区社協より

★大代婦人会様から
金一封のご厚志をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

★共同募金街頭募金のお礼
昨年の文化祭に於てご協力頂きました共同募金街頭募金は全部で一万六千二百二十七円でした。ご協力有難うございました。

* 一月行事予定 *

◆14日(日) 福祉弁当

◆21日(日) 婦人会支部長会

◆23日(火) 連合自治会

◆28日(日) 幼小公民館合同講演会